

## 信濃美術館整備方針（案）へのご意見と委員会の考え方について

1 意見募集期間 平成 28 年 2 月 4 日～3 月 4 日（30 日間）

2 意見数 46 件（14 通）

No.	整理項目		ご意見の内容	委員会の考え方
	大項目	小項目		
1	3 新美術館のコンセプト	3.2「美術による教育」の支援	(1) 「教育」は教え導くような目線である。自ら学ぶ部分を含めて「学ぶ」くらいの表現のほうがよいのではないか。	ご意見の趣旨を踏まえ、表記を「美術による学び」に変更します。
2	3 新美術館のコンセプト	3.1 ランドスケープ・ミュージアム	(1) 善光寺との回遊性はとても大事。善光寺に訪れた人が行きたくなる美術館、また、美術館を目的に来た人が善光寺にも訪れたいくなるようなものにすべき。それには美術館としての要素も大事だが付加価値が必要。	城山公園や善光寺東庭園を含めたエリア全体の一体化が最も重要であると考えています。
			(2) オープンスペースは、ただの交流スペースを設けただけでは持続しない。カフェ、図書館等の併設を視野にいれるべき。(富山環水公園スターボックスのような公園と一体化させたカフェのような)	
			(3) 長野県のシンボルとなり、日本の美術を外国人観光客をはじめ世界にも発信できるような県の新たな観光スポットとなる魅力ある美しい建造物を期待する。	美術館の建物自体が美しくかつ機能的で地域のシンボリックな存在となることをめざしており、観光名所となり得る魅力的なものにしたいと考えています。
			(4) イメージ図にあるように美術館から眺めた善光寺が一枚の絵になるようなスペースがあるとよい。	建物の内側から見る景観も重視したいと考えています。
4 施設整備の考え方	4.1 立地条件を活かした整備	(5) 公園回りは善光寺への参拝客が多い休日等は駐車場がなくて大変混雑するため、駐車場を増やす必要がある。立体駐車場では景観を損なうため、地下駐車場等対策が必要。	駐車場整備の必要性は認識しています。今後、長野市と県とで協議する予定です。	
		(6) 美術館から善光寺を見た風景が6ページのイメージ図のようなものになればとてもよい。新しい善光寺の景観スポットとなるが、現状善光寺と公園の間には道が通っていてそのまま作るとイメージのようにならない。善光寺から地続きになっていけば一体感も増し、足も運びやすくなる。善光寺東庭園からどこからでも公園に行けるようにするために、公園を今より高くし、道の上を通れるようにする等すればなお魅力が増すのではないか。	新美術館と城山公園、善光寺東庭園の一体化は重要と考えています。その手法については、今後、県が長野市や善光寺とともに公園のコンセプトを検討する中で具体化していく予定です。	

No.	整理項目		ご意見の内容	委員会の考え方
	大項目	小項目		
3	3 新美術館のコンセプト	3.5 信州と世界の交流ステージ	(1) 美術館のテーマ、大きな方向性を決めることが大事である。ある一定の価値を持つ美術品を集める美術館では他の美術館と差別化が図れず、目的意識を持った来場者を見込めない。そこで、「世界平和を探る美術館」というテーマについて一度考えてみてはどうか。美術と世界平和は一見関係のないように思えるが、東山魁夷が「大自然と共にあることの喜びや、自然との対話から美の調和を探し続けた」という姿勢が平和を求めることにも繋がる。「世界平和を探る美術館」は善光寺にお参りに来た方はもちろん国内外から、必ず寄りたくなる美術館になるのではないのでしょうか。	めざす姿として、「信州と世界の交流ステージ」を掲げており、善光寺とのエリアの連続性を含めて、「世界平和を探る美術館」と同様の方向性で考えています。
4	4 施設整備の考え方	4.1 立地条件を活かした整備	(1) 善光寺東庭園と城山公園の一体化のためには、隣接市道の地下化は避けて通れないと思う。この一帯の価値を高めるために、英断がほしい。	市道の地下化は、善光寺東庭園と城山公園の一体化のための手法の一つであると考えます。ご意見を市道管理者の長野市にお伝えします。
			(2) 旧NHKの建物あたりからの周辺の山々の景色をバックにする善光寺の景色は特筆に値する長野の代表的な景色と言ってよい。是非とも長野に来る方々にこの場所からの景観を楽しんでもらい、長野や善光寺の魅力を堪能してもらい。そのためにも旧NHKの建物はいかなものかと思う。	旧NHKの建物は、長野市の管理ですので、ご意見を長野市にお伝えします。
			(3) 城山公園の中には長野市で設置している野外彫刻が多数ある。美術の方向性からも新美術館とこの野外彫刻のコラボレーションがないことはあり得ないと思う。これらのコラボにより、規模や質的にも全国屈指の美術館と(彫刻)公園になり得るチャンスと考える。この機会を逃せば、今後のこのようなチャンスはない。責任者の英断に期待する。	ランドスケープ・ミュージアムをめざす中で、町並み等と一体化した文化的な空間形成の観点からも意義ある取組と考えており、県と長野市で協議していきます。
5	3 新美術館のコンセプト	3.1 ランドスケープ・ミュージアム	(1) ランドスケープ・ミュージアムとあるが、それほど素晴らしい景色で、価値のある空間と思えない。コンセプトとしてもよいが、筆頭に位置付けるほどのことではないのではないかと。	善光寺や山並みなどの借景を美術館のコンセプトとして打ち出している美術館は全国的にも珍しく、信州らしさを現すコンセプトであると考えています。
		3.2「美術による教育」の支援	(2) 県立美術館であることは承知しているが、これまで長野市民や長野市の小中学生は、県展や水彩画展で信濃美術館に展示されることを励みに活動に取り組んできたと思う。今後、使用料が高くなり、手が届かなくなってしまうのは、文化芸術の振興に逆行するものと思うので、慎重に検討して頂きたい。	新美術館では県民の皆さんの作品発表の場として県民ギャラリーを設ける予定です。使用料については、多くの皆さんに利用していただけるような料金設定を検討します。

No.	整理項目		ご意見の内容	委員会の考え方
	大項目	小項目		
5	3 新美術館のコンセプト	3.4 世界水準の作品展示と信州芸術の紹介	(3) 観光客を誘客することは重要だが、県費で建設し、運営する以上、県民の文化芸術の拠点であることを最優先とすべき。したがって、「世界水準の作品展示と信州芸術の紹介」を先頭に持ってくるべきではないか。また、現在の美術館で、世界水準の作品展示ができなかった例を示し、例えばこのような展示ができるようになるという具体例を示してほしい。	便宜的に番号を付していますが、コンセプトの重要性の順番ではありません。 また、世界水準の作品展示は、重要文化財等の公開にふさわしい公開承認施設にすることにより、国宝・重要文化財級の作品や世界的にも著名な作品を展示したいと考えています。
		4 施設整備の考え方	(4) 建設費は賄えたとしても、施設規模を拡大すると、運営経費もかさむと思うが、どのように捻出していくのか。文化振興事業団の職員数を増やさずに対応できるのか。文化振興事業団の専門性で手に負える建物となるのか。老朽化の問題や狭隘であることは理解するが、他の県に負けまいと華美で巨大な建物を建設することは、決して県民のためにならないと思う。	多くの方に利用していただけるソフト面の充実を図ることはもちろんのこと、施設・設備の適正規模についても検討します。
	4.3 施設の配置	(5) 城山公園の噴水は長野市民のシンボルであり、影響を最小限にとどめることが必要だと思う。また、松林等もこれまで関係者の努力により松くい虫被害から防いできた。土地があるからと言って安易に施設を拡大すべきではないと思う。	新美術館と城山公園や善光寺東庭園との一体化に向けて、公園管理者である長野市と城山公園のコンセプトを協議する中で検討します。	
6	3 新美術館のコンセプト	3.2「美術による教育」の支援	(1) 美術館の一角に世界水準のキルト(パッチワーク)作品を展示・保管するスペースを設けていただきたい。	新美術館では、信州ゆかりの芸術家に創作活動や発表の場を提供する予定です。また、収集保管については、今後コレクションポリシーを検討する際に参考にさせていただきます。
		3.5 信州と世界の交流ステージ	(2) 新美術館の集客につなげるには、善光寺を参拝する「年配のご婦人達」に旅の思い出を増やしていただくためにキルト作品を鑑賞していただき、観光地・信濃美術館を活かしてほしい。	善光寺に隣接する有利な立地条件を活かすことは重要だと考えます。来場したくなるような魅力的な企画展等を、幅広い観点から検討します。
7	3 新美術館のコンセプト	3.2「美術による教育」の支援	(1) 新美術館のコンセプトの大きな柱として、次世代育成の拠点となる美術館と位置づけし、具体的には「子供たちのためのアトリエ」と「研究室」、さらに付属の準備室、倉庫の設置を要望します。さらに、このアトリエを中心にして生み出された、素晴らしい作品を展示する、県民ギャラリー(仮称)「幼児と子供たちの芸術館」としての活用を願っています。今後、次世代育成を強力に推進するためには、県主催の「長野県美術館連絡協議会」を設置し、優れた作品の企画展を実施することを願います。	新美術館では、アトリエや県民ギャラリーの設置を想定しており、世代育成の観点からも利用していただける施設にしたいと考えています。 また、県主催の協議会の設置については、今後の施策検討の参考にさせていただきます。

No.	整理項目		ご意見の内容	委員会の考え方
	大項目	小項目		
8	3 新美術館のコンセプト	県内外の美術館のネットワーク	(1) 「長野県内にとどまらず、北陸、関東、中部美術館のネットワークの中核を担い」などの高い目標とコンセプトを掲げてこそ、世界水準の作品展示も現実的に可能となるのではないかと。	県外美術館との県域を越えるネットワークづくりや海外の美術館との連携等により、世界水準の作品展示につながると考えており、今後取り組む課題として検討します。
		3.6 めざすべき姿に向けて今後取り組む課題	(2) 学芸員の不足、人材の育成が課題として挙げられているが、不足しているのは特に「正規雇用」の学芸員です。「信州ゆかりの芸術家や地域の芸術活動を支援」を実現するためにも、地域の人たちと長期的に安定して継続した人間関係がもてる労働環境が必要です。この新美術館で働く全ての人が、日常的にアートに親しみ、せめて地域の若い芸術家の作品を購入できる程度に生活に余裕のもてる思い切った給与水準の検討を提案します。単純に「正規雇用の学芸員を増やす」ことにとどまらず、アートの持つ社会性を世に示す手段の一つとして、「非正規雇用」や「官製ワーキングプア」の問題を含めて人材育成を可能にするために必要な課題の一部として認識し、現実的な解決方法を検討してほしい。	来年度、管理運営面を検討する中で、新美術館にふさわしい人員体制等を検討します。
	その他	(3) 長野県の新しいアートの拠点を創り、新しい地域社会の文化のあり方や流れを左右する大きな事業でありながら、地域住民の間でもほとんど話題にもなっていないことが残念です。信濃美術館のホームページからさえ、このような意見募集がされていることに気がつきませんでした。もっと世間を騒がせ動かせるのができるのが芸術の力だと思います。もっと大胆に広く意見を求め、せめて「なんか面白くなりそうだ」と感じさせてくれる美術館にして頂きたいと願います。	これまで美術関係者との意見交換会や中学生・高校生へのアンケート、県民の皆さんへの意見公募など様々な形でご意見をお聞きしてまいりました。いただいたご意見を踏まえて、県民の皆さんに愛され、親しまれる美術館にしてまいります。	

No.	整理項目		ご意見の内容	委員会の考え方
	大項目	小項目		
9	3 新美術館のコンセプト		<p>(1) 提示されたコンセプトは、善光寺東庭園から城山公園内の新美術館に限定されたエリアのコンセプトになっているが、それらを含む城山公園全体のランドデザインのコンセプトを長野県と長野市、善光寺の連携で創る必要がある。</p> <p>個別に事業化が優先する状態では、「信州と世界の交流ステージ」というめざす姿を掲げる“国内外の人々が集い、信州の魅力を発揮する文化・観光の一大拠点”にはなり得ない。</p> <p>[私たちが考えるランドデザインのコンセプト案] (前文として)</p> <p>この地、善光寺=城山公園は、インドから大陸を經由し奈良～信州へ仏教伝来の壮大な歴史を有する善光寺の祈りの空間であり、新美術館が構想する世界に誇れる精神文化を芸術表現する信州ならではの心豊かな精神復権の創造の場であることを掲げたい。</p> <p>1) 世界からも注目を集め、人々の美意識を高める「信州らしい美の拠点」を創る。</p> <p>2) 館と館(新美術館と周辺施設)を結んで、「屋外彫刻が点在する回遊庭園」を創る。</p> <p>3) 信州の「産業活性化に寄与する美術・デザインの振興拠点」を創る。</p> <p>4) 観光客、県民のための「信州らしいおもてなしの迎賓館」を創る。</p>	<p>新美術館と城山公園や善光寺東庭園との一体化に向けて、公園管理者である長野市と城山公園のコンセプトを協議する中で検討します。</p>
		県内外の美術館のネットワーク	<p>(2) 美術館を中心にしたネットワークが検討されているが、県内には美術館以外にも博物館、建築物、神社仏閣、企業、団体まで優れた「信州美」が多岐にわたって収蔵されています。ぜひ、ネットワークの対象範囲を拡大してほしい。個々の収蔵展示情報は、ネットワークの活用により、新美術館で詳しく検索できることが望ましい。</p>	

No.	整理項目		ご意見の内容	委員会の考え方
	大項目	小項目		
9	3 新美術館の コンセプト	3.3 信州の地 域文化の多 様性を活か す	(3) 「信州の文化芸術に関する調査・研究を行う」、「クリエイティブな人材が国内外から集まり、互いに高め合う知的なハブになる」とあるが、新年度に実施できる事業として、現在の信濃美術館や県内の主要文化施設を訪れる芸術文化に関心の高い人々への「新しい芸術文化施設についてのアンケート調査」の実施が必要です。どの芸術分野への期待が高いか、どんな人材がいるかなど関心度を把握できます。	今後ソフト面の具体的な内容を検討する際に、必要に応じて検討します。
		3.6 めざす姿 に向けて今 後取り組む 課題	(4) ○美術館における信州のイメージの具現化 国宝・縄文のビーナスから始まる「信州美」の歴史は世界に誇れるものです。新美術館では、実物展示は困難ですが、「信州美のネットワーク」(美術博物館、建築物、神社仏閣、企業、団体などとの連携)の中から国際的な評価を得ている作品を網羅し、マルチビジョンやレプリカにより再現する「常設の信州美を総覧するフロア」を新美術館内に設置できないでしょうか。 ○人材育成 グローバル人材の候補になる人は県内にも多数います。育成する教育機関を整え、公募する。	今後、めざす姿の実現に向けて、課題を具体的に検討する際に参考にさせていただきます。
	4 施設整備の 考え方		(5) 施設の配置や公園の一体化は長野市と善光寺との協議を踏まえて、建築家と調整する。--と記載されていますが、“周辺の山並みや自然美と調和するランドスケープ・ミュージアムにする”ためには、新美術館の建物を専門にする建築家だけでなく、ランドスケープデザイナー(造園計画)の参画も初期の段階から必要です。特に、長野市の施設との連携においては、公園の高低差を活用する施設計画を考慮した造園計画が重要になります。又、施設と庭園のライトアップ(特に善光寺の二年参りや灯明まつりとの連動)も初めから検討すべきです。	新美術館と城山公園や善光寺東庭園との一体化に向けて、公園管理者である長野市と城山公園のコンセプトを協議する中で必要に応じて検討してまいります。

No.	整理項目		ご意見の内容	委員会の考え方
	大項目	小項目		
9	4 施設整備の考え方	4.3 施設の配置	(6) 新美術館の想定配置エリアには、公園のシンボルにもなっているヒマラヤ杉の巨木が4～5本あります。まさに、公園の美観を構成する「ランドスケープ・ミュージアム」としても重要です。新美術館の配置に配慮が欲しい。	新美術館と城山公園や善光寺東庭園との一体化に向けて、公園管理者である長野市と城山公園のコンセプトを協議する中で検討します。
		4.4 施設の規模	(7) レストランは、美術館の中につくらず、公園の魅力向上のための施設として、長野県と長野市で協議---と記載されています。私たちは、長野市都市整備部へ城山公園の既存の施設をリノベーションまたは改築する「長野迎賓館」(仮称)を提案中です。善光寺平の展望が楽しめる場所に、地元北信の食が味わえるレストランや憩いのスペース、名品ショップなどおもてなしの空間が生まれることを期待しています。	新美術館と城山公園や善光寺東庭園との一体化に向けて、公園管理者である長野市と城山公園のコンセプトを協議する中で検討します。
	5 今後検討すべき課題	(8) ○公園のコンセプト 長野市と善光寺との協議を通じ、建物と一体化した公園整備に向け、同時並行で公園のコンセプトを検討---と記載されていますが、“周辺の山並みや自然美と調和するランドスケープ・ミュージアムにする”ためには、ランドスケープデザイナー(造園計画)の参画が初期段階から必要です。	公園管理者である長野市と城山公園のコンセプトを協議する中で必要に応じて検討してまいります。	
		(9) ○コレクションポリシーの策定 収集分野を従来からのいわゆる「純粋美術」(絵画、彫刻等)に限定せず、現代美術の多様な展開を踏まえつつコレクションポリシーを策定---と記載されていますが、現代美術のキュレーターはもちろん産業デザイン分野の専門家(アートディレクター)の参画も必要です。 ※ 新年度の事業計画の中には、ぜひ各専門分野の建築家、プランナー、デザイナーなどが参加して新美術館への期待を込めた県民向けの講演会とシンポジウムを開催してほしい。	今後、コレクションポリシーを検討する中で、体制面についても検討します。	
10	3 新美術館のコンセプト	3.1 ランドスケープ・ミュージアム	(1) ランドスケープ・ミュージアムのコンセプトはとてもよいと思う。長野にしかないオリジナルなコンセプトだと思うのでこのイメージは最後まで大事にしてもらいたい。	ランドスケープ・ミュージアムは、信州らしさを現すためにも重要なコンセプトであると考えております。
			(2) 新美術館が観光スポットとしての役割を果たす旨の記載がほしい。善光寺のすぐ側という立地条件からして観光スポットとしての役割は必要だと思う。少なくとも観光雑誌に大きく紹介されるような施設になってほしい。	新美術館のめざす姿「信州と世界の交流ステージ」として、国内外の人々が集う文化・観光の一大拠点を掲げて取り組みます。

No.	整理項目		ご意見の内容	委員会の考え方
	大項目	小項目		
10	3 新美術館のコンセプト	3.1 ランドスケープ・ミュージアム	(3) 新美術館そのものが一つの作品となるような魅力的な建物にしてほしい。	美術館の建物自体が美しくかつ機能的で地域のシンボリックな存在となることをめざしており、観光名所となり得る魅力的なものにしたいと考えています。
			4 施設整備の考え方	4.1 立地条件を活かした整備
	(5) 城山公園にある既存の噴水は残す必要はない。今の噴水には誰も集っていないし、ランドスケープのコンセプトにも合わない。ただの芝生広場の方がイベントも出来るし人は集まる。水場を作るのであれば水遊びができる噴水、または小川のような設備を新設すべき。同理由で花時計も残す必要はない。	新美術館と城山公園や善光寺東庭園との一体化に向けて、公園管理者である長野市と城山公園のコンセプトを協議する中で検討します。		
	4.2 既存施設との関係	(6) ファザード部分を活用する旨を記載する必要はない。新しいコンセプトの美術館を創るのに既存のファザードを活用する必要はないと思う。この記載はプロポーザルを行う上で足かせになると思うので削除すべき。		
	4.4 施設の規模		(7) 情報ライブラリーのエリアが必要だと思う。P.6 にもあるように信州の魅力情報を入手できる情報室。県内の展示会情報の入手やチケットの購入ができ、パソコン(タブレット)が置いてあり自由に使える場所が欲しい。	パブリックスペースに信州の文化芸術や観光に関する情報を入手できる役割・機能を持たせることを検討します。
			(8) 図書室は一般の人でも利用できるのでしょうか。せっかく作るのであれば一般の人にも開放してほしい。	図書室は一般の方の利用も想定しています。
			(9) 施設の中に自由に見学できるエリアは含まれているのでしょうか。沢山の人が集う施設にするには金沢の 21 世紀美術館のように自由(無料)に作品を見て回れるエリアも必要。目玉となる(記念撮影が出来る)コンテンツもほしい。	多くの方に利用していただけるフリーエリアの設置を検討します。



No.	整理項目		ご意見の内容	委員会の考え方
	大項目	小項目		
11	3 新美術館のコンセプト	3.4 世界水準の作品展示と信州芸術の紹介	(1) 荻原守衛や東山魁夷、菱田春草等良いのですが、戦後 70 年経っていますので、例えば作家の県内外出身にこだわらず、戦後の作家中心に長野県信州の山々を描く作家(奥田郁太郎、畦地梅太郎など)の常設企画展というのはいかがでしょうか。	今後、コレクションポリシーを検討する中で考えていきます。
		3.3 信州の地域文化の多様性を活かす	(2) 県内各地域の博物館、美術館等と観光、山岳をキーワードにネットワーク化し、長野市善光寺周辺だけの観光でなく山岳絵画を見て東信、北信、中信、南信、他の地域も訪れてみたいと思うような企画を希望します。	今後、県内美術館と連携・協働を進める中で参考にさせていただきます。
12	5 今後検討すべき課題		(1) 現状の学芸員の充実 美術館にとって学芸員は命、若しくは主役である。あえて言えば、総責任者は館長である。信濃美術館の主な課題によれば、学芸員が不足しており十分な仕事ができおらず、達成感や充実感が味わえず悔しい思いをしている毎日かと思われまます。私見ですが、学芸員の補充は3~4名が必要です。	来年度、管理運営面を検討する中で、現状の学芸員の体制についても検討します。
			(2) 将来の学芸員の充実 整備方針案のコンセプトは素晴らしく、まるで「アルカディア」のようですが、実行は誰がやるのでしょうか。前記のとおり、この不足した人員でやるのですか。私は到底不可能と思います。さらに、私見ですが、この夢を実現させるには、最低7~8名が必要と思われまます。合計で10~12名の人員が必要です。長野県の中心美術館にふさわしいスタッフを揃えてください。	来年度、管理運営面を検討する中で、新美術館にふさわしい体制を検討します。
13	4 施設整備の考え方	4.4 施設の規模	(1) ワークショップ室等を設置する場合は、スペースの許す限り「大きな準備室」があるとよいです。ワークショップ室と同程度の大きさが理想です。備品の収納と準備には、かなりのスペースが必要です。大人も子供もノビノビと楽しめ、且つそれを支える裏方も余裕の持てる空間を設置されることを希望します。	今後、各施設の広さ等を検討する際に参考にさせていただきます。
14	3 新美術館のコンセプト	3.2「美術による教育」の支援	(1) 教育的視点から県内小中高校の美術教員の皆さんに県内観光地、山岳絵画や高山植物をテーマに展示企画を開催してはどうでしょうか。	教育普及の企画検討の際に参考にさせていただきます。